

六甲枝垂れの氷室で貯蔵

ロクゴーサン

日本酒 653本 限定販売

来月13日に取り出し、試飲も

白鶴酒造（神戸市東灘区）は、

六甲山上の人気スポットとなっている展望台「六甲枝垂れ」（同市灘区）の地下の氷室で貯蔵したオリジナル日本酒「白鶴 大吟醸 六甲枝垂れ」（720ミリ）を7月13日に発売する。1本1836円。六甲山の語呂合わせで、653（ろくごーさん）本の限定販売となる。

同展望台の開業10年目を記念し、企画された新商品。毎年この日に行われる「氷室開き」に合わせて氷室から取り出す。展望台利用者への試飲（先着100人）も

ある。

同展望台では、毎年冬季に、雨水をためた人工池に張った氷を切り出し、地下の氷室に貯蔵。夏にはその氷の冷気でエアコンとは違う涼風体験ができる。今年は3月初め、天然の氷とともに瓶入りの「大吟醸 六甲枝垂れ」を氷室に納めた。フルーティーな香りとさわやかな味わいが特徴で、氷室貯蔵によって、よりまろやかな味わいになるという。

白鶴酒造は、酒造りに六甲山の伏流水を用いており、かつては六甲おろしも利用していた。担当者は「六甲山とは昔からのつながりがある。氷室貯蔵酒の第2弾なども考えていきたい」としている。

7月1日から山上の六甲ガーデンテラスにある「六甲おみやげ館」で予約販売を開始。六甲ビューパレスなどでも販売する。六甲ガーデンテラス ☎078・894・2281
（堀井正純）



展望台「六甲枝垂れ」の氷室内のオリジナル日本酒「白鶴 大吟醸 六甲枝垂れ」